滋LP様式第48-1

**液化石油ガス設備工事チェックリスト（容器）**

１．当該液化石油ガス設備工事を行った事業所

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備工事を行った  事業所名称 |  | 電話番号 |  |
| 特定液化石油ガス設備工事開始届 | 年　　　月　　　日届出 | 担当者氏名 |  |
| 滋賀県・　　　都道府県(※)　　　届出番号　第　　　　　　号 | | |

※滋賀県以外で開始届をした場合は届出番号の確認できる書類を添付

２．施設名称、工事完成年月日等

|  |  |
| --- | --- |
| 工事に係る施設名称 |  |
| 完成年月日 | 年　　　月　　　日 |
| 供給開始日 | 年　　　月　　　日頃（予定） |
| 施設の指定 | 規則86条　　　号に定める施設 |

3．技術上の基準（規則第１８条）

供給設備（貯蔵設備、気化装置、調整器及びガスメーター並びにこれらに準ずる設備（貯蔵設備とガスメーターの間に設けられるものに限る。）並びにこれらを接続する管（「供給管」）並びにこれらの設備に係る屋根、遮へい板及び障壁）について記載する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 該当条文  ※１ | | 技術基準適合の根拠となる内容 | 根拠書類　※２ | |
| 書類名 | 添付 |
| 容器１０００ｋｇ未満 | 火気  第1号イ  例示13  県手引Q5 | 火気までの距離を様式第1号及び4号に記載  (基準：容器を置く位置から火気まで2mを超える)  火気をさえぎる措置  □有(様式第4号に詳細を記載)　□無 | 様式第1号 | － |
| 様式第4号 | － |
| 屋外設置  第1号イ | □容器等を屋外設置  □容器等を屋内設置(滞留しない措置(　　　　　　　　)) | 写真 | 有･無 |
| 腐食防止  第1号ロ  例示15 | 容器の腐しょくを防止する措置  □床面コンクリート　□その他(　　　　　　　　) | 写真 | 有･無 |
| 40℃以下  第1号ハ  例示8 | 容器を常に40℃以下に保つ措置  □屋根　□容器収納庫　□その他(　　　　　　　　) | 写真 | 有･無 |
| 損傷防止  第1号ニ  例示9 | 容器の設置位置は、屋根、庇の垂直投影面の内側で、積雪により埋没しない位置に設置：□適合　□その他(　　　　　　　　)  容器の転倒を防止する措置  □チェーン　□金属バンド　□その他(　　　　　　　　)  洪水浸水想定最大深さ　　m　※1m以上は流出防止措置必要 | 写真 | 有･無 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 容器１０００ｋｇ～３０００ｋｇ | 保安距離  第2号イ  例示2 | 保安距離を様式第2号及び4号に記載  ※第1種保安物件は、供給先自体も該当  (基準：第1種保安距離16.79m以上、第2種保安距離11.31m以上)  障壁：□有　□無 | | 様式第2号 | － |
| 様式第4号 | － |
| 障壁の図面 | 有･無 |
| 火気施設  第2号ロ | 火気取扱施設までの距離を様式第1号及び4号に記載  (基準：貯蔵施設外面から火気取扱施設まで5m以上) | | 様式第2号 | － |
| 様式第4号 | － |
| □流動防止措置(　　　　　　　　) | | 写真 | 有･無 |
| 滞留防止  第2号ハ  例示4 | 漏えいしたLPガスの滞留防止の措置を様式第2号に記載  換気の詳細は写真又は図面に記載 | | 様式第2号 | － |
| 写真又は図面 | 有･無 |
| さくへい  第2号ニ | 貯蔵設備にさく、へい等の設置：□設置　□未設置  さく、へいの種類を様式第2号に記載  さく、へいの配置を様式第4号に記載 | | 様式第2号 | － |
| 様式第4号 | － |
| 写真 | 有･無 |
| 警戒標  第2号ホ  例示1 | 貯蔵設備の警戒標の設置位置を様式第4号に記載  警戒標の種類を以下に☑  □LPガス貯蔵施設　□LPガス貯蔵設備  □燃(赤文字)　□火気厳禁(赤文字)  □販売所名称及び所在地　□管理者名　□管理者電話番号 | | 様式第4号 | － |
| 写真 | 有･無 |
| 消火設備  第2号ヘ  例示5 | 消火設備の詳細を様式第2号に記載  消火設備の配置を様式第5号に記載 | | 様式第2号 | － |
| 様式第5号 | － |
| 写真 | 有･無 |
|  | 屋根  第2号ト | 貯蔵設備の屋根又は遮へい板：□屋根　□遮へい板  屋根又は遮へい板の材料を様式第2号に記載 | | 様式第2号 | － |
| 写真 | 有･無 |
| 転倒防止  第2号チ  例示9 | 容器の転倒を防止する措置  □チェーン　□金属バンド　□その他(　　　　　　　　)  洪水浸水想定最大深さ　　m　※1m以上は流出防止措置必要 | | 写真 | 有･無 |
| 腐食防止  第2号リ  例示15 | 容器の腐しょくを防止する措置  □床面コンクリート　□その他(　　　　　　　　) | | 写真 | 有･無 |
| 温度対策  第15号  例示31 | 温度変化による対策が必要な供給管：□有　□無 | | 写真 | 有･無 |
| 供給能力  第4号  例示27 | | 調整器等は消費者の最大消費数量に適応  最大消費数量：　　kW(　　　kg/h)  調整器容量：　　kg/h、気化装置容量：　　　kg/h | |  | － |
| 欠陥  第5号 | | 集合装置、供給管等に使用上支障のある腐しょく、割れ等の欠陥  □欠陥なしを確認済み　□欠陥の有無を未確認 | |  | － |
| 腐食防止  第6号  例示28  ※変更の工事にあっては、変更のあった部分について記載 | | 露出 | 屋外に設置する供給管：□有　□無 | 施工状況写真 | 有･無 |
| 床下、室内又は壁面(屋外側)に設置する供給管：□有　□無 | 配管支持写真 | 有･無 |
| 溝内に設置する供給管：□有　□無 | 施工状況写真 | 有･無 |
| 室内で直接水の影響を受ける供給管：□有　□無 | 床下立上写真 | 有･無 |
| 埋設 | 埋設する供給管：□有　□無  上記のうちPE管：□有(埋設深　　　cm)　□無 | 埋設配管写真 | 有･無 |
| 埋設立上写真 | 有･無 |
| 壁、床を貫通する供給管：□有　□無 | | 貫通部写真 | 有･無 |
| 壁、床等の空洞部の供給管：□有　□無 | | 配管支持写真 | 有･無 |
|  | | 供給管と導電性の支持面との電気絶縁措置：□実施　□無  供給管の埋設立上部に電気的絶縁継手：□使用　□未使用 | | 電気絶縁措置 | 有･無 |
| 材料  第7号  例示28 | | バルブ、集合装置、供給管の材料：□適切なものを使用　□未確認  供給管の材質を様式第1号及び施工図面に記載 | | 様式第1号 | － |
| 施工図面 | 有･無 |
| 耐圧試験  第8号イロハ | | 規則イ　容器と調整器の間の管の耐圧試験  (基準：2.6MPa以上)  □試験記録添付　□未実施(適合管使用)　□対象なし | | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ロ　調整器とガスメーターの間の管の耐圧試験  (基準：0.8MPa以上)  □試験記録添付　□未実施(適合管使用)　□対象なし | | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ハ　1次調整器と2次調整器の間の管の耐圧試験  　　　　(基準：0.8MPa以上)  □試験記録添付　□未実施(適合管使用)　□対象なし | | 試験記録 | 有･無 |
| 引張試験  第8号ニ | | 容器、集合管、調整器、硬質管等を接続する管にあっては、接続された状態で引張1kN以上：□適合　□未確認 | |  | － |
| 漏えい防止  第8号の2  例示40 | | 集合装置、供給管の修理又は取り外し時の漏えい等の防止措置  □実施済み　□対象なし | |  | － |
| 気密試験  第9号イロ  例示29 | | 調整器とガスメーター間の供給管の内容積を様式第1号に記載  気密試験の自記圧力計：□機械式　□電気式ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ式 | | 様式第1号 | － |
| 規則イ　1次側調整器と2次側調整器の間の供給管の気密試験  (基準：0.15MPa以上)  □試験記録を添付　□未実施　□対象なし | | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ロ　上記の規則イ以外の***供給管***(貯蔵設備とガスメーターの間を接続する管)の気密試験(基準：8.4kPa以上)  □試験記録を添付　□未実施　□対象なし  試験範囲： | | 試験記録 | 有･無 |
| 漏えい試験  第10号  例示29、41 | | 漏えい試験の方法：  漏えい試験の範囲：  漏えい試験の圧力：　　kPa、試験圧力保持時間：　　分 | | 試験記録 | 有･無 |
| 圧力保持  第11号イロ | | 規則イ　生活の用に供するものの燃焼器入口圧力：　　kPa  □対象なし　　　(基準：2.0kPa以上3.3kPa以下) | | 試験記録 | 有･無 |
| 規則ロ　規則イ以外のものの燃焼器入口圧力：　　kPa  □対象なし　　　(基準：燃焼器に適合したもの) | | 試験記録 | 有･無 |
| 損傷防止  第12号  例示28 | | 建物の自重により損傷を受ける供給管：□有　□無  建物の自重による損傷を防止する措置：  道路法第3条の道路の埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  (基準：道路法施行令第12条第3号の規定による深さ)  自動車が常時通過する場所の埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  (基準：60cm以上の深さ)  凍結により影響を受ける埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  (基準：30cm以上の深さ)  上記以外の埋設管：□有(埋設深　　　cm)　□無  　(基準：30cm以上の深さ)  埋設PE管と地表面間の標識シート：□有　□金属線埋設　□無  埋設PE管の埋設位置明示：□有　□無(防護措置：　　　　　　)  コンクリートを貫通するPE管：□有(さや管：□有　□無)　□無 | | 損傷防止写真 | 有･無 |
| 設置場所  第13号 | | 地崩れ、不同沈下等のおそれのある供給管：□有　□無  建物の基礎面下の供給管：□有　□無 | |  | － |
| 危険標識  第14号 | | 危害を及ぼすおそれのある地盤面上の供給管：□有　□無  危害を及ぼすおそれのある供給管の危険標識：□有　□無 | | 危険標識写真 | 有･無 |
| 排除措置  第16号  例示32 | | 自然気化のドレン溜まり：管径　　mm、長さ　　cm  気化装置のドレン溜まり：　　L | | 排除措置写真 | 有･無 |
| 切替装置  第17号  例示7 | | 一の供給設備により二以上の消費設備：□有　□無  中断なく交換できる設備： | | 設備写真 | 有･無 |
| ガス栓  第18号 | | 一の供給設備により二以上の消費設備：□有　□無  ガスメーター入口側の供給管にガス栓：□有　□無 | | 設備写真 | 有･無 |
| 気化装置  第19号  例示33、34 | | 気化装置の有無を様式第1号に記載 | | 様式第1号 | － |
| 気化装置の耐圧試験の試験成績書を添付  LPガスを直火で加熱する構造：□有　□無  液状LPガス流出防止措置：□ﾌﾛｰﾄ　□気化ｶﾞｽ温度  □熱媒温度　□他(　　　　 　)  温水部凍結防止措置：□有　□無 | | 試験成績書 | 有･無 |
| 調整器  第20号  例示30 | | □単段減圧式調整器　□二段減圧式一体型調整器  □二段減圧式分離型調整器  調整器の耐圧試験の試験成績書を添付  調整器の気密試験の試験成績書を添付  ***例示基準第30節1(2)の測定方法による***調整圧力及び閉そく圧力  調整圧力の施工場所での測定値：　　　kPa  閉そく圧力の施工場所での測定値：　　　kPa | | 耐圧、気密  試験成績書 | 有･無 |
| 調整圧力試験記録 | 有･無 |
| 閉そく圧力試験記録 | 有･無 |
| 地下室等  第21号 | | 供給設備、消費設備及び特定供給設備に関する技術基準等の細目を定める告示第3条で定める地下室等：□有　□無 | | 施工図面 | 有･無 |
| 上記の地下室等には、LPガスの供給を停止する緊急遮断装置  □有　□無 | | 緊急遮断装置の写真 | 有･無 |
| ガスメーター  第22号  例示44 | | ガスメーター型式：  □規則イ及びハの遮断機能　□規則ロ及びハの遮断機能  □規則ハのみ(理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)  規則イ　異常なガス流量を検知したときに自動的にガスの供給を停止する機能及びその旨の表示  規則ロ　ガス漏れ警報器を用いた機器であって、ガス漏れを検知したときに自動的に供給を停止(□ガス漏れ警報器を内蔵　□連動遮断のためのガス漏れ警報器を設置)  規則ハ　対震自動ガス遮断器 | | 遮断機能が確認できる書類 | 有･無 |
| 施工後の表示  規則第115条第1号 | | 2以上の消費設備に供給するための供給設備：□有　□無  様式第59による施工後の表示：□有　□無 | | 表示の写真 | 有･無 |

※１　・「例示」は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の例示基準

　　　・「県手引」は、滋賀県液化石油ガス設備工事届の手引の8. よくある質問

※２　・供給設備の技術上の基準の適合状況の根拠となる書類がある場合は、その書類名および添付の有無を記載する。既に書類名が記載されているものについては、その書類を添付する。

　　　・変更の工事にあっては、変更のあった部分についての試験成績書および写真を添付する。

　　　・写真については、技術上の基準の適合状況がわかるものを抽出して添付する。全体写真にて適合状況が確認できる場合は、全体写真のみを添付する。